



新和小だより

〒339-0027 埼玉県さいたま市岩槻区大字尾ヶ崎1252番地
電話番号 048(798)0003
E-mail niwa-e@saitama-city.ed.jp
ホームページアドレス <http://niwa-e.saitama-city.ed.jp>



合言葉は「あいさつ 笑顔 チャレンジ 1ポイントUP 新和小」

学校教育目標
進んで学ぶ子
協力する子
たくましい子
児童数
男子108人
女子98人
合計206人

ことばが生まれると（6月は、新和小学校いじめ防止月間）

校長 吉野 寿一

昨年度の今頃は、県内・市内の施設爆破予告騒ぎで何かとご心配をかけました。今年度になって、同様の案件はなくなりましたが、近隣での刃物をもった不審者の出没で、再びご心配をかけ、「学校安心メール」を配信する機会が増えています。登下校時、外出時に、一人でいる時間を減らし複数で行動することを引き続き指導して参りますので、ご家庭でもご協力のほどよろしくお願いいたします。

去る5月27日（土）開催の運動会では、大勢の方々にご参観並びにご声援をいただきましたことに、御礼申し上げます。おかげさまで、天候にも恵まれ、子ども達にとって充実した運動会となりました。「気合い入れ 優勝するまで 戦おう」を合言葉に取り組んだ成果をお見せすることができたことをたいへんうれしく思います。一つひとつの演技もさることながら、運営にまわった高学年児童は、休む間もなく、係の仕事をしていました。彼らの実力が十分に発揮されたよい運動会だったと感じています。また、閉会式後には、皆様のご協力のお陰により、後片付けや校庭の整備が短時間で終了することができました。重ねて御礼申し上げます。



さて、6月は「新和小いじめ防止月間」です。いじめは、絶対に許されない行為です。このことを、大人も子どもも意識し、一人ひとりの尊厳を大切にし、いじめが起こらない風土を作り上げていくことが必要です。しかし、この問題は口で言うほど容易なことではありません。いじめは、どこでも起こりうるという意識をもっていることが肝要です。そして、起こってしまった時のことを考えて、迅速に解決に向かう方法を検討・実施していきます。

行為とともに「ことば」は生まれます。「いじめ」も時代の流れの中で、「いじめる」の名詞化したものです。1980年代初頭、それまでの個対個の行為から、集団による行為を指すようになって使われるようになりました。それまでも「いじめられる」とは言っていましたが「いじめにあう」とは言わなかったのです。大きな社会問題以降は名詞化した「いじめ」が使用されることになってきました。子どもは、間違いをおかしながら正されて成長していきます。度を越した行為が、注意されず、叱られないまま成長させることは避けなければなりません。一時的には楽であっても、長期的に見れば、大きな損失となります。「いじめ」の「ことば」そのものが無くなるように、私たち大人が不断の努力を続けていきましょう。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 1 いじめの問題に係る事件・事故を、対岸の火事ではない、という危機感をもつこと。
- 2 いじめを発見したら、「抱きついてでも」とめること。
- 3 いじめられている児童を絶対に守り抜くこと。
- 4 「いじめは絶対に許さない」という強い認識をもつこと。
- 5 いじめる児童に対し、毅然とした態度で指導すること。
- 6 荒れた状態、すさんだ状況を放置せず、教育環境を整えること。
- 7 重大事態には、警察等関係機関と必ず連携すること。
- 8 教師自らの体験を語るなどして、児童に将来への希望が生まれるように働きかけること。

